チア・にっぽん　CHEA JAPAN

NEWSLETTER　164 号 2017 年 5 月

〒189 0013 東京都東村山市栄町 1-5-4-103
TEL 042-318-1807　FAX 03-6862-8648
http://www.cheajapan.com

わたしは、わたしの霊をすべての人に注ぐ。あなたがたの息子や娘は預言し、年寄りは夢を見、若い男は幻を見る。その日、わたしは、しもべにも、はしためにも、わたしの霊を注ぐ。（ヨエル　2：28.29）

ハレルヤ！　皆さん、お元気ですか？チア・マガジン 45 号、完成しましたのでお届けします。コンベンション講師、グレッグ・ハリス氏の「ただの消費者ではなく、生産者を育てる」、過去 2 年間の講師陣のメッセージ、2 大特集「バイブルミュージアムが与えられて」「『教育機会確保法成立！』」、そして 4 代目のクリスチャン、石破茂・前地方創生大臣のインタビュー「両親、曽祖父、聖書に学んだこと」ほか、もりだくさんです。

チア・マガジン４５号　完成！

5 人の前・元文科大臣らのチア・マガジン推薦文も掲載し、今後、教育委員会・学校、御親戚・友人の皆さんにホームスクーリングを紹介・説明する際の強力な武器を、神様が提供くださったのではと思っています。一つ一つの原稿を編集させていただきながら、毎回、深く励まされました。皆さんがエンジョイくださり、日々のホームスクーリングにも微力でも貢献できればと願っています。

いよいよコンベンションも近づき、準備が佳境です。今年は、「Do Hard Things! 高嶺を目指す」「父の関わり」「子育てを通して親自身が鍛えられていく」「祈りと信仰」といったテーマで進んでいます。次世代のニーズにリアルに応えるため、コンベンションでは初となる OB・OG 対象のセミナー＆ディスカッションも開催されます。皆さんのご参加とお祈りのほど、どうぞ、よろしくお願いします。皆さんへのますますの祝福を祈っています。

チア・にっぽん代表　稲葉寛夫

ニュージーランドからの「バイブルミュージアム」用のアイテム輸入第二弾、コンテナ２本の積み下ろしボランティア作業が 5 月 15 日から進んでいます。今回は、ティーンの参加は定員制で､17 名。そのほか､丸森の皆さん 4 名､スタッフ・親チームを加え、28 名で行っています。

今回の準備を通しても、神様の偉大な力、不思議な助け、多くの人々のサポートへの感謝、そして、神様からの大きな励ましを感じています。そのいくつかを以下に証ししますね。

800 万円が無料へ！（アメリカ・ロングビーチ港）

アメリカに革サンダル 1400 足を輸入しました。日本に輸入した場合、関税 800 万円ということで断念。廃棄処分の可能性も出ましたが、朝目覚めた時にふと、アメリカに持っていき、アメリカの聖書系の映画に用いたり、また、日本に来るたびに、小規模ずつ運ぶのはどうかなとアイデアが与えられました。ちょうど、我が家で借りた倉庫スペースが空いていました。出資者の皆さんの賛同も得られ、アメリカの輸出入の勉強は苦労もありましたが、道は開かれました。手紙で事情を説明して提出したところ、アメリカの関税は、なんと無料でした。アメリカの輸入会社の A さんも予期しない展開でした。

（A さん）（輸入目的等を説明する）レター文章ありがとうございました。早速頂いたレターと共に通関をし、本日輸入許可が下り、通常は課税対象品目ですが、無税で通関してくれました。委託先の通関業者も税関から全品検査等、指摘をされる可能性があると心配しておりましたが無事許可が下り良かったと思います。ご協力ありがとうございました。

（稲葉）ありがとうございます。神様と、A さんのおかげです。ありがとうございました。何から何まで、本当にありがとうございました。A さんが引き受けてくださり、たくさんの良きご指導をしてくださったこと、誠に感謝しています。神様の祝福と報いが豊かにありますように、心から祈ります。今後とも、どうぞ、よろしくお願いします。

第二陣、聖書アイテム約1万点、日本上陸

5 月 11 日（木）夜に、今回のコンテナ 2 本分の輸入許可が下りました。皆さんのお祈り、感謝です。今回は、衣装 3300 着、ローマ兵の武具や絨毯、革製品等 1 万点で、前回、2 月のコンテナ 5 本分（7000 アイテム）よりも、書類作りが難しいアイテムでした。同じような服でも、色や素材、サイズ、材質が違えば、すべて別書類を制作し税関に申請するようにと指示を受けていました。一部の物乞いの服を除いては、十二単のような重ね着がほとんどですが、その場合、1 枚、1 枚、書類が必要であり、服にアクセサリーがついていれば、それも種類、材質ごとに重量や個数、素材、生産地、写真を伴った書類制作が必要とのことでした。

前号（NL163 号）に、海運会社 7 社に見積もりを依頼したとお伝えしましたが、そのうち最大手の日通を含む 2 社が、辞退しました。上記の 1 万 7 千点もの輸入許可を得るための書類作りがあまりに、複雑･大仕事になるためとのことです。たとえば車何千台、T シャツ何万枚であっても、同品目の輸入は難しくないとのことです。今回のように、キリストの時代のイスラエルの生活再現という「種類やデザインが微妙に違う多種目のアイテム」といった、これだけ多数の書類が必要なケースは扱ったことがないし、仕事量が多すぎてやりたくないとのことでした。輸入書類がしっかりしていないとコンテナごと輸出国、今回の場合は NZ に返されてしまうといったこともよくあるとのことでした。

中小の海運業者の場合でも、難航しました。上記の通り多品種の複雑な輸入であるため、前回、お伝えした通り、約 1 ケ月の全品検査に費用がかかるとのことで、関税費用以外に、海運会社への費用だけで 2000 万円を見積もった海運会社も 2 社ありました。

最終的に仕事をお願いした B 社は、日本のトップ 10 に入るであろう準大手の企業です。「各２日余りで通関を目指す」との、とても助かる最短の計画を立ててくれました。他社では「通関に１ケ月」との見込みで費用を見積もっていた会社もあり、B 社案は、コストを大きく抑えれることになり、感謝でした。B 社は実力・指導力と

聖書関連　１万７千アイテム、全て日本に上陸！
バイブルミュージアムへ前進！

実績があり、本社は名古屋税関の隣で、信用関係も抜群です。それだけにＢ社の厳しい審査をパスすることが私たちへの第一関門です。内部審査をパスした後でも税関ですんなり通るかどうかは、検査官次第であり、「この先は誰にもわかりません」(Ｂ社のＣさん）という厳しい現実があります。

ニュージーランドでは、そうしたプレッシャーの中で約 65 トン、１万７千点のパッキング・積み込み作業と書類作成が行われました。第一陣は白馬セミナー翌日から 12 月中旬までの約３週間。コンテナ７本（１万７千点）を一気にパッキング・書類作成すると、書類制作が不十分となり、NZ に返される危険を伴うとわかりました。それで難関のコスチューム等は、１月中旬から、第二陣、去年９月から数えると４回目の NZ 行きで、さらに３週間かけて書類をしっかり作成する作戦が与えられました。スムーズな輸入準備を目指すこの作戦に、出資者の皆さんらの温かい承認も得られ、全力を尽くしました。書類作成の特別チームも編成し、帰国後も、万全とは言えずとも、ベストを尽くして取り組みました。仕上がった書類に、Ｂ社のＤさん、Ｅ通関士さんらがチェックを進めました。それでも、合格できるかどうかは、最後まで、誰にもわかりませんでした。

９日火曜夜には、海運会社の担当スタッフのＤさんから、「税関から、今回の品目は多品目で、通常にない、めずらしい品目なので、通常よりも一日時間を延長して検査しますと連絡ありました」とのことでした。

そして木曜夜、Ｄさんと私とのやり取りです。

（Ｄさん）口座へご入金有難うございます。無事輸入許可になりました。

（稲葉）素晴らしいです！本当にありがとうございました！これでコンテナ７本、完全日本上陸ですね。Ｄさん、Ｅさん、Ｆさん、Ｃさんはじめ、Ｂ海運　の皆さんのご尽力のお陰です。心から感謝申し上げます。Ｄさん、連休返上のお働き、重ね重ね、感謝申し上げます。

（Ｄさん）ありがとうございます。先程検査場から帰って参りましたが、丸１日の税関検査となり、コンテナ２本　分を全量デバン（※コンテナからの荷下ろし作業）して、大型Ｘ線検査を３回の内容でした。今回は税関も徹底的に検査したと思われます。

（稲葉）そうでしたか。すごかったですね。大型Ｘ線検査３回も徹底していますね。そして、本当に徹底検査だったのですね。

その上で、無事、輸入許可というのは誠にすごいです。クリスチャン的に言えば、皆さまのご尽力と神様の助けと祝福のお陰です。また、今後に控えている「バイブルミュージアム」に改めて、Go サインが出て、次のステージへの扉が開かれ、光が差し込んだような思いがします。

（Ｄさん）はい。取り急ぎ概算費用をご案内させて頂きます。

（稲葉）ありがとうございます。すべて承知いたしました。

ということで、無事にコンテナ７本、日本上陸がかないました。そして 15 日月曜から愛知県新城市の山の学校にて、第二次保管作業に入ってい

ます。B 社への費用も今のところ、ほぼ見積もり通り、20 分の 1 あまりで進んでいます。皆様のお祈り、ありがとうございます。

今の課題は、名古屋港の B 社からスクールへの輸送ルートです。前回、デバン作業をしたところからスクールに行く道路途中で、3 週間前に土砂崩れがあり、約半年間、道路不通とのことです。それで迂回が必要で、前回のような現地（牛舎わき）でのデバンはあきらめました。名古屋港でデバンし、10 トントラック 6 台で輸送しようという代替計画です。しかし、連休後の混雑で、こちらのスケジュール内では、10 トントラックが 4 台分しか確保できないとのことで、明泉トラック（3 トン）と、レンタカートラック（4 トン）も借りて、体制を組みました。全員の体調が守られ、安全に、迅速に楽しく主を讃えながら完了できますようにお祈りください。そして、今回もまた、終わった時には圧倒的な勝利の主を讃え、参加者はもちろん、全国の皆さんが大いに励まされる時となりますようにお祈りいただければ幸いです。

また、次の長期ステップとしては、デザイン、用地確保、資金、祈りのチームの形成等があります。引き続きお祈りいただければ感謝です。

OB/OG セッション「ホームスクーリングをどう理解し、伝え、実践していくか」

コンベンションとしては初めて、OB/OG を対象としたセッションを持ちます。「ホームスクーリングをどう理解し、伝え、実践していくか」をテーマに、OB/OG のリアルなニーズに応えていこうという企画です。好評だった白馬セミナーの企画をさらに深く掘り下げたいと願っています。

最近、OB/OG たちが、大学や社会に出て、圧倒的なノンクリスチャン、あるいはクリスチャンからも圧力を受けて、苦しんでいる声が届きました。男女交際であったり、お酒であったり、合コンであったり、大学の偏差値や就職した企業規模の違いで、コンプレックスを持ったり、日々の自分の在り方であったり、社会性であったり、伝道についてであったり。そして、信仰は何とか保てても、キリストにある高い志や、ホームスクーリングへの確信が揺らいでいく OB/OG たちの声も聴きます。あるいは、そうした自分に気づいていない OB/OG の姿に対する懸念の声も届きます。「ホームスクーリングの目的は何だったのか」と。

それは、とてももったいなく、残念なことだ

次世代担う希望の星たち　－　白馬セミナー　OB/OG セッションにて

し、私たち自身の未熟さを悔いています。ホームスクーラー第二世代は次世代を担う希望の星であり、その育成と強化は重要かつ必須なので、危機的な状況でもあり、何かサポート・貢献ができて、主のために互いに励まし合っていければと思い、祈る日々です。聖書に「わたしは、わたしの霊をすべての人に注ぐ。あなたがたの息子や娘は預言し、年寄りは夢を見、若い男は幻を見る（ヨエル2:27)」とある通り、OB/OG は霊が注がれ、預言し、幻を見る特別な器であり、もし、苦しんでいるなら、あまりにもったいない、我らの希望の星たちです。

一方、クリスチャンが燃えるときに、困難や揺さぶりがあるのは当然と言えば当然だし、その背後にある大きな神様の計画を見ていく必要も示されます。また、ホームスクーリングという特別な愛情で育てられた信頼に足る器です。すべては感謝で、すべては益と変えられていくことを示されます。「いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。すべての事について、感謝しなさい。これが、キリスト・イエスにあって、神があなたがたに望んでおられることです（１テサロニケ５：16 － 18)」「すべて益と変えられる（ローマ８：28)」といった聖句に基づき、信仰を用い、感謝をもって状況を見ていく錬成や訓練も必要と思います。

OB/OG が困難に直面したり、揺さぶりにあったりすることは、ある程度、予測されたことでもあります。多くの OB/OG、あるいは自分も含めてホームスクーラーたちは分水嶺を歩み、日々、選択を迫られているとも言えます。神に愛されているゆえに。神の前に謙遜に、「Poor & Needy」になることは神様に喜ばれることですが、その逆は危ないです。

その中で、ホームスクーラー OB/OG に特化した励ましと的確な情報、特に聖書・ホームスクーリングを軸にした情報の提供と強化は必須だと示されます。そのニーズに直面し、応えようとしているのが、今回のコンベンション企画「ホームスクーリングをどう理解し、伝え、実践していくか」です。

具体的には、まず、白馬セミナーで上映した「ホームスクールドロップアウト」を再上映し、その後、ディスカッションとセミナーをしたいと思っています。この映画はホームスクーラー OB/OG の目線で制作された大事な映画です。白馬で観たみんなには、じっくり 2 回目を観て考えてほしいし、まだ、観ていないみんなにはぜひ、観てほしい。そして、みんなで、ざっくばらんに話し合えれば…と思っています。今回は、9 月の OB/OG 準備会や白馬セミナーで好評だった、ステージの上から大勢の聴衆を前にして話すのではなく、OB/OG 中心の少人数の分科会スタイルを考えています。

今回のセッションの起点

OB/OG、あるいはチア第二世代にぜひ提供したいのは、聖書的理論武装です。多くの OB/OG は、ホームスクーリングは良かったと、感覚的には捉えてくれていて、それはすごく感謝です。神様の祝福だし、真実だと思います。

しかし、多くの親御さんは、子どもたちに、聖書やキリストの素晴らしさ、伝道の大切さを教えてきた一方で、意外とホームスクーリングの聖書的根拠とか、教育学的な根拠等を、あまり教えてこなかったという声も多いです。親御さん自身は、ホームスクーリングに踏み出す前に、セミナー、コンベンション、ニュースレター、マガジン、チアの書籍などで必死に勉強したのですが…。それで、聖書的な根拠をしっかり学び、導きを確信され、この日本社会でホームスクーリングに踏み出された方々がほとんどです。

でも、子どもたちには、ニュースレター、マガジン、チアの書籍等を読ませなかった、だから、自分の子どもたちは、ホームスクーリングは良いとは思っていても、理論的には、ぼんやりとしかわかってないのでは…という状況が多いです。チア発足後 18 年が経った今、全国のホームスクーリング家庭から、「2 世のホームスクーリングそのもの」についての勉強不足への反省の声も出始めています。

子どもたちにも、「聖書が教える恋愛講座」「結婚講座」を読ませるだけでなく、広範なチア書籍やマガジンも用いて、ホームスクーリングの目的そのものを知らせていく必要も示されています。親への啓蒙・励ましや、LIT で手いっぱいで、ティーンに対する聖書的なホームスクーリング論の土台作りを、あまり強調してこれなかったチアや僕自身の未熟さでもあります。

そうしたニーズに応えて、チア・サポート・スクールでは、今春から、チア関連書籍の読書マラソンもスタートしています。今回のコンベンションにおけるOB/OGコースでも、こうした角度から、今後の成長へのサポートができればと考えています。

堅い食物（コリント1　3：2）

チャーチ＆ホームスクーリングOB/OG＆次世代のみんなには大いに期待しています。「伝道・世界宣教」へのレバレッジ化（少しの人数・投資で全国的、世界的影響をもたらす）が可能だと確信しています。それゆえ、神様がここまで日本でのホームスクーリング展開を許し、祝福してくれたのだと思います。

そこで、今度の6月3日(土)大阪会場、10日(土)東京会場には、一つの時至ったとの思いもあり、励ましと情報提供のアクションが起こせればと思っているわけです。

幸い、去年9月のOB/OG会発足準備会以降、OB/OG会は、東京で3回、白馬で1回、既に5回を積み重ね、今度は6回目になり、このような『堅い食物』（コリント1　3：2）内容の企画も大丈夫かなと思っています。ぜひ、皆さん、OB/OGにも声をかけてくださり、またお祈りいただければ幸いです。

河村議員夫妻らとの出会い

「教育機会確保法」や、5人の前・元文科大臣らの推薦文を掲載したマガジン45号のデザイン原稿が仕上がり、河村建夫元官房長官（元文科大臣）に持参しました。720名の衆参全議員に送付したマガジン44号の贈呈封筒をお見せすると、「おー。これはいいですね」と喜んでくださいました。

河村夫人とも、初めてお話しすることができました。「政治の力、ぜひ、使ってください。多様な教育は大事。今、使わなければ損ですよ」。そしてマガジン等に目を通してくださっている途中、「あ、クリスチャンの団体なのですね。私もクリスチャンなのですよ。西南学院卒で」「(稲葉）西南学院卒の牧師の皆さんで、チアを応援

河村建夫元官房長官・文科大臣（上）に衆参全議員へのマガジン４４号贈呈を報告。石破茂前地方創生大臣（下）にはマガジン４５号インタビュー記事を報告。両議員とも、喜んでくださった。

くださっている方がおられます。河村先生には大変、御世話になったのです。これからもぜひよろしくお願いします」「こちらこそ。ぜひ、がんばってくださいね」とのことでした。

チアオフィスにも議員の皆さんからの問い合わせや法案特集パート1の43号の注文が届いたり、とても感謝な状況です。

5月9日には石破茂前地方創生大臣に、デザイン原稿をお見せする機会も与えられました。「オー！」といって喜んでくださいました。石破議員の曾祖父で、欧米で2万人の人々をキリストに導いたと言われる金森通倫さんの資料を、闘病中の父から手渡されました。改めてアポイ

ントを取り、お贈りできたらいいなと思っています。お祈りいただけましたら幸いです。

チャレンジ・困難に挑む心
ー収穫多かった 2 年ぶりのマラソン

最近、2 年ぶり、4 回目のフルマラソン挑戦の機会が与えられました。この2年間は、特に忙しく、機会を逸していました。練習不足もありましたが、今回、チャレンジできました。結果として、目標タイムは達成できませんでしたが、でも、すごく収穫大きく、ハッピーで帰ってきました。

最初の 24 キロまでは、力を抑えて走り、タイムも順調でかなり良かったです。でも、これまでも壁だった24キロを過ぎたら、急に走れなくなり、歩くことになりました。

24 キロまでの快走の理由は、この４年あまりの学習が活きたのだと思います。そのポイントは、ホームスクーリングにも当てはまるかなと思います。

①完璧でなくても、止めなければ、積み重ねで伸びていく

練習不足でしたが、４年前から少しずつ貯めた貯金で、ハーフ過ぎの 24 キロぐらいまでは快走できたのだと思います。ホームスクーリングは主にあっての努力であり、無駄になりません。クリスチャンが主のために良いことをしようとすれば、不完全でも主が祝福してくださることを覚えます。完璧でなくていいので、悔い改めつつ、止めないで、進めることの恵みを体験できました。

②情報収集・上手な人に倣う謙虚で積極的な姿勢も大事

また、30 冊ぐらいマラソンの本を読んだ研究結果が活かされたと思います。最初は飛ばさずにイーブンペースでいくとか、走るフォームの研究とか、24 キロまでは、予定どおりの快走でした。タイムは目標達成できませんでしたが、収穫は多かったです。私たち人間には、聖書という神の知恵が与えられています。またクリスチャンには、聖霊の力と助けも常に与えられています。「子育て」の知恵を求めながら聖書を読み、祈り続ける特権が与えられています。また、コンベンションやマガジンほか、今の日本にはホームスクーリングのための先人たちの発見やアドバイス、失敗談、励ましや近道、王道の情報を得るチャンスが与えられています。そうしたリソースを積極的に利用する大切さを思いました。

③地道な練習「量と時間」が必要

でもフルマラソンの 42.195 キロまで快走するためには、やはりこの 2 年は練習量が足りませんでした。そこは、地道な練習が必要かなと思いました。完璧でなくていいので、一歩一歩尽力し、神様の恵みとあわれみを祈り求め、継続する力を求めることだと思いました。使徒パウロですら、自分は完全ではなく、まだとらえていないとして、努力を重ねていました。「私は、自分はすでに捕らえたなどと考えてはいません。ただ、この一事に励んでいます。すなわち、うしろのものを忘れ、ひたむきに前のものに向かって進み、キリスト・イエスにおいて上に召してくださる神の栄冠を得るために、目標を目ざして一心に走っているのです。（ピリピ　3：13、14）」

またライオンでも飢えるときはあるけれど、主を恐れ、求めるという強い方法を聖書は教えています。「主を恐れよ。その聖徒たちよ。彼を恐れる者には乏しいことはないからだ。若い獅子も乏しくなって飢える。しかし、主を尋ね求める者は、良いものに何一つ欠けることはない」（詩篇 34：10.11）ですね。

25 キロの壁ーあなたの信じた通りになるように（マタイ８：13）

25 キロを過ぎて、少し走り始めましたが、ピンチが来ました。筋肉疲労や呼吸器系の苦しさだけでない、ひざの関節にケガのような症状が出て、「これは今日は途中棄権かな…あるいは、これからはずっと歩いてゴールに向かい続ける過去最悪のタイムかな…」と思いかけました。同時に、「この考えはいけない。『あなたの信じた通りになるように』（マタイ 8：13）だな」と思いました。

マラソンもホームスクーリングもチームに助けられて　―　LA マラソンにて

目的を胸に刻んで：105 歳まで現役伝道で、パッと天国に行けるように

私のランニングの目的は、「神様が許してくださるならば、105 歳まで現役で伝道できて、ぱっと天国に召されるように体と心を鍛錬しよう！」ということでした。それは、あるショックを受けたことがきっかけです。

6 年前、チア・オリンピックの 1500 ｍに向けて練習を始めたところ、1 キロ走ったらぜいぜいでショックを受けました。その頃、48 歳ぐらいですが、アメリカの空港の廊下でガラスに映った自分を見たら 70 歳か 75 歳以上に見え、びっくりしました。また、頑強なポール・ブローマンさんが倒れられ、息子のジャシュアさんが「親父、運動してれば、あと 10 年は伝道できただろうと思う」と話してくれたことも心に残りました。そうした中で、始まった運動です。

当時、40 肩、50 肩で片手が上がらなくなり、お腹も出ていたので、最初の 1 年は、腹筋と懸垂に取り組みました。アメリカに戻るたびに、家族で鉄棒のある近くの公園に行き、最初は 1、2 回が精一杯でした。「プロ野球に入団したドラフト 1 位の選手が 20 回できてチームで 1 番だった」というニュースを聞きました。そのことも目標に、アメリカに戻るたびに継続し、やるたびに 1 回ずつ増やしていったら、18 回までできるようになりました。腹筋も最初は 30 回から始め、一日 10 回ずつ増やし、800 回ほどできるようになりました。そして、5 年前からランニングを始めたら、これは、誰にでも可能なことですが、1 キロが 3 キロに、5 キロに、10 キロに、15 キロにと伸びていきました。これらは、ホームスクーリングの原則にも当てはまり、また体力、信仰面でも、みんなを励ますことができると発見しました。

今回、26 キロ周辺でフラフラになりましたが、聖書の原則は、大事なことは繰り返し、心に刻むこと。「よく教え込みなさい」（申命記 6：7）です。それで、「神様、すべてを感謝します。今日の走りを通しても、みんなを励ませるようにしてください。伝道のチャンスも一層､ください」と祈り続けながら、少し走っては、かなり歩きと繰り返していました。

30 キロで医療手当を受ける

でも、歩く距離が長くなり、時間は、どんどん経過していきました。新しく買ったランニングパンツのサポーターの太腿への締め付けがきつく、医療テントに入って、はさみを借りてカットしました。お医者さんが「アレルギーがあるか？」と聞かれるので「ないです」というと、なにかわからない錠剤を 2 錠くれました。マラソンで、医療手当を受けたのは初めてのことです。

はだしで歩く 75 歳のおじいちゃんとの出会い

ところが 32 キロあたりで、韓国人の 75 歳の

おじいちゃんと出会って状況は一変しました。はだしで歩いていたので聞いてみると、70 歳に病気で死にそうになり、体重も 25 キロほど減り、お医者さんから股関節を取り換えるように言われ、そこからランニングを始めたとのことでした。そして回復。「なぜ、はだしで歩くことにしたのですか」と聞くと「チャレンジだから。痛くて熱くて大変。だけど、チャレンジ！でやってる」とのことです。食事も野菜、果物を中心に、気をつけながら。

「僕は韓国料理が好きで、ブルゴギも好きだけど、食べないのですか？」「ブルゴギは OK だよ。でも少量ね」「なるほど。僕はクリスチャンですが、神様が造られた体を大切にされ、神様も喜んでおられると思います」「聖書のことはよくわからんけど、そうなんだろうね」「神様はおじいさんを通して、多くの人を励ましていると思う」と少し伝道をしつつ、詳しく話を聞きました。

「はだしで、ガラスがあったら、どうしますか」「よく見ながら走るんだよ」「アスファルト、夏は熱いでしょう？」「熱い。それがチャレンジになるからいいんだよ」

一緒に歩きながら、話を聞いていたアメリカ人の方が「私は 65 歳だけど」「あなたは、まだまだ小僧っこだよ。今日、この大会を走ってる 80 歳の日本人の友達がいる。彼はこの前、254 キロの大会に出て、走破したんだよ」「そうですかー。僕は 54 歳です」「始めるのに、ちょうどいい年齢だよ」「なるほど。励まされます」。路面のコンクリートが荒れた道路になりました。「これが痛いんだ。でも、チャレンジ、チャレンジ！　ハーフはいいけど、フルは 2 回目。まだまだ自分に大きなチャレンジなんだ」

限界までチャレンジする感謝と喜び

この「チャレンジ！」の連発を聞いて、僕もなるほどと思いました。そして限界まで「チャレンジ」できることの幸せを神様に感謝し、僕も喜んで走り出す思いになりました。

「ありがとうございます。本当に励まされました。神様の祝福を祈ります。また、会いましょう」「また、会おう！」と、そのおじいさんと別れ、再び走り出しました。不思議とひざの痛みもなくなりました。呼吸も整っていました。今日、24 キロで調子悪くなって良かった、そのおかげでおじいさんと出会えたのだから。まさに、ローマ 8：28「神を愛する人々、すなわち、神のご計画に従って召された人々のためには、神がすべてのことを働かせて益としてくださる」だなーと思いました。「困難の向こうには、神様の最善の計画が待っている」わけですね。気持ちも体も軽く、その後の 8 キロはまさに快走でした。

41 キロで現れた天使のような男性に励まされて

残り 1 キロとなった時、さすがに限界だーと思い、歩きかけました。すると、後ろを走っていた 30 － 40 代の男性が、やさしくポンポンと僕の肩をたたき、微笑んで、追い抜いていきました。「歩かないで、走れ！走れるよ！」ということです。これはとてもめずらしいことです。3 万人のレースですので、まわりに何百人も一緒に走っています。その方は、僕の肩だけを叩いて、ずっと前に走って消えました。叩き方も嫌味なく、押しつけもなく、でも元気が出る、信頼感を感じる、やさしい励まし方でした。僕は、走り去ったその人は、天使だったんじゃないかなと思いました。

再び走り出した僕は、そのまま高校生の陸上部グループとゴールしました。途中棄権か、過去最低を覚悟したレースでしたが、完走でき、時間も過去 3 位と、好タイムでした。

何より、チャレンジを楽しんで走れました。ゴール後、御礼と伝道の続きがしたく、おじいさんのゴールを待ちました。1 時間待っても会えないので、またの機会と祝福を祈り、喜びの中で自宅に向かいました。

サマーキャンプ順延のお知らせ

コンベンション前ですが、恒例のチア・サマーキャンプへの問い合わせ、お申込みを相次いでいただき、とても感謝です。それにも関わらず、大変、申し訳ないですが、サマーキャンプは、来年 8 月に順延させていただき、今年は、9 月ワクワク合宿、オリンピック、11 月の白馬セミナーに備えさせていただければと思いました。

本年度は、上記の「バイブルミュージアム」「国

会」関係で、コンベンションほかの準備が、例年より遅れ、ぎりぎりで進んでいるのが現状です。サマーキャンプは実施できないわけではないですが、そのためには、コンベンション終了と同時に怒涛のごとく準備に入るという感じです。

長期的な視野に立ち、今年は１年順延させていただき、十分、プランを練って、来夏に実施してはという方向が良案と思えました。

いつも手伝ってくださる方々にご意見を伺うと、多くの皆さんが賛同してくださいましたが、中には「稲葉さん、ダメ。去年も延期して来年はやりますって言ってたでしょう？やらなければ、稲葉さん、ものすごく怒られるよ。僕たち手伝うんだし、チアのスタッフは何もしなくていいんだから、やればいいでしょう？」それはまた、うれしいご意見であり、確かに、やるべきかなとも思いました。それで感謝を伝え、「さらに祈って検討してみます」と答え、再検討のプロセスもありました。

「サマーキャンプ」は、重要な企画ですが、「バイブルミュージアム」「国会」は今、全力を尽くすべき項目で、サマーキャンプは１年順延しても、大丈夫な項目かなということで、今年は上記の２つと、９月以降の企画に集中させていただく判断となりました。

サマーキャンプ参加を祈ってくださっていた皆様、大変、申し訳ありません。来年はいよいよ再開を予定しています。どうぞ、今から予定に入れてくださり、祝福をお祈りいただければ幸いです。もし何かありましたら、ご意見、ご感想を遠慮なくお知らせください。

困難に挑戦する子どもたちを育てる！

グレッグ・ハリス氏を迎えてのチア・コンベンションもいよいよ近づきました。「困難に挑戦する子どもたちを育てる」とのテーマで、子どもたちをこれぐらいでとあきらめず、「Do Hard Things」で「高嶺を目指して」向かいます。オーバーペースにならないように、休みながら、またペース配分を考えながら。でも、あきらめず、完璧主義にならず、子どもたちとのきずなを育みながら、一歩一歩、高嶺に向かっていければと思います。父の役割も大事。課題に直面することを恐れずに、主にすべてを感謝しつつ歩んでいければと思っています。

ホームスクーリング家庭によるファミリービジネスにも挑戦中！　－グレッグ・ハリス氏とロゴマーク

神様は偉大な可能性を持つ子どもたちを、私たちに委ねてくださいました。聖書が言う通りです。

「わたしは、わたしの霊をすべての人に注ぐ。あなたがたの息子や娘は預言し、年寄りは夢を見、若い男は幻を見る。その日、わたしは、しもべにも、はしためにも、わたしの霊を注ぐ。（ヨエル　2：28.29）」

「神は、神ご自身にとって、大きな子どもたちである私たち、親を鍛えるためにも、可能性に９いう視点をグレッグ・ハリスさんから聞き、なるほどとおもいました。一歩、一歩、もっと福音を伝えられるように、鍛えられつつ歩んでいければと思います。

楽しみなチア・コンベンション、皆さんのお祈りとご参加を心から祈ります。皆さんへのますますの祝福を心から祈ります。

感謝しつつ

稲葉寛夫

大 阪 会 場 6月2日(金)		
9:15	**受付開始** Doors open	
9:40	**プロムナード 賛美** Praise & Worship	
9:50	**挨拶と祈り** 稲葉寛夫(チア・にっぽん代表) Greeting & Pray Hiro Inaba (Chea Japan)	
10:10 11:20	**基調講演1「なぜ、困難なことに立ち向かう子どもたちを育てるのか？」** **Why Raise Kids To Do Hard Things?**	**グレッグ・ハリス** **Gregg Harris**
11:20-40	**インフォメーション** Information	
11:40	**昼食** Lunch	
13:00-13:20	**賛美 & インフォメーション & 献金** Worship & Information & Offering	
13:35 14:25	**分科会1 Workshop 1** **1-S** あなたが子どもたちを楽しむようになるまで訓練する Train Them Until You Like Them **1-A** 聖書に基づく地球史(1):ヨブと氷河時代 **1-B** 子どもを主のために育てる **1-C** ホームスクールの教材について－高学年から中学生 **1-D** 経済実験(慶應義塾大学、予約) **1-E** 天のお父さん最高!	 **グレッグ・ハリス** **Gregg Harris** **宇佐神 実** **マタイ・ブローマン** **竿代 健** **赤林 英夫・大垣 昌夫** **乾 亮介＆奈々**
14:40 15:30	**分科会2 Workshop 2** **2-S** 子どもたちを巻き込む価値のある、冒険に満ちた人生を送る Live An Adventure Worth Including Them In **2-A** 子をその行く道にふさわしく教育せよ。 そうすれば、年老いても、それから離れない。箴言22:6 **2-B** チャーチ＆ホームスクーリング－必ず聞かれる20 の質問 **2-C** 気がつけば、今年ホームスクール9年目に突入！！ すごい、これこそが神の恵み、神の導き **2-D** 経済実験(慶應義塾大学、予約) **2-E** 家庭でもできる、理科実験	 **グレッグ・ハリス** **Gregg Harris** **太田 仁一** **稲葉 寛夫** **竹橋 賢一＆祐子** **赤林 英夫・大垣 昌夫** **成田 登**
15:45 16:35	**分科会3 Workshop 3** **3-S** 子どもたちの退屈を楽しいことに活用する Harness Their Boredom With Delight **3-A** 文化の中味を入れ替える **3-B** 育むための権威－子どもの視点から **3-C** 正しい歴史観をもつために(学校で刷り込まれる歴史観) **3-D** 経済実験(慶應義塾大学、予約) **3-E** 教会を建て上げるホームスクーラー **3-F** 英語カリキュラムGrapeSEEDの効果的な学習 前編	 **グレッグ・ハリス** **Gregg Harris** **大久保 みどり** **ピーター・ブロックソム** **末宗 宣行＆百合子** **赤林 英夫・大垣 昌夫** **伊藤 義和＆こずえ** **藤原 政信(グレープシティー)**
16:45-17:00	**インフォメーション＆祈り** Information & Pray	

☆☆大阪食事情報☆☆

昼は会場のロッジにて、**700 円のビーフカレー**、**夜**は、**ロールキャベツ（ライス付）・・・1,000 円・ビーフカレー・・・1,000 円・ハンバーグステーキ 温野菜添え（ライス付）・・・1,200 円・ビーフシチューオムライス・・・1,200 円**からお選び頂き、ご注文頂けます。ご希望の方は **5 月 26 日**までにチア事務局へご連絡下さい！会場のロッジ・舞洲から徒歩 10 分以内にコンビニエンスストア：ローソンもあります。また、宿泊の方々はお部屋に小さな冷蔵庫がございます。ご利用下さい。コンベンション期間中、あじさい展が開催され、露店なども出る予定です。

大 阪 会 場 6月3日(土)		
9:15	**受付開始** Doors open	
9:30	**プロムナード 賛美** Praise & Worship	
9:35	**挨拶と祈り** 稲葉寛夫 Greeting & Pray Hiro Inaba	
9:45 10:55	**基調講演 「良い木 Vs 悪い木」** The Good Tree Vs The Bad Tree	**グレッグ・ハリス** **Gregg Harris**
11:05 11:55	**分科会4 Workshop 4** **4-S** 子どもたちの分野において、賢者ソロモンを見つけ出す Seek Out The Solomon in Their Field **4-A** 聖書に基づく地球史(2):聖書に基づく地質年代 **4-B** CSS ホームスクーリングは神様からの最強・最新の教育法！ 改革365日めのワクワクレポート！ **4-C** 英語カリキュラムGrapeSEEDの効果的な学習 **4-D** 経済実験(慶應義塾大学、予約) **4-E** 月城家 荒野と約束の地への歩み	**グレッグ・ハリス** **Gregg Harris** **宇佐神 実** **稲葉 寛夫・堀井 卓・伊澤夫妻** **CSS(チアサポートスクール)** **藤原 政信(グレープシティー)** **赤林 英夫・大垣 昌夫** **月城 聖一＆美和子**
11:55	**昼食** Lunch	
13:20 13:55	**賛美＆絵画・写真コンテスト表彰式＆インフォメーション＆自由献金** Worship & Awarding ceremony of painting and photo contest & Information & Offering	
14:10 15:00	**分科会5 Workshop 5** **5-S** 単なる消費者でなく、プロデューサー・企画者・生産者として育てる Raise Them to Be Producers, Not Just Consumers **5-A** 主の教育の理念の再確認 **5-B** 岐路に立った時の選択 ～ エレミヤ 6:16 ～ **5-C** OB/OG/ユースセッション ＊どなたでも参加OKです ホームスクーリングをどう理解し、伝え、実践していくか Part1 ドキュメンタリー映画 ホームスクーラー ドロップアウト鑑賞会 **5-D** 経済実験(慶應義塾大学、予約) **5-E** ホームスクールだからこそできる！英語脳の作り方！	**グレッグ・ハリス** **Gregg Harris** **青木 靖彦** **森山 剛＆有佳子** **稲葉 寛夫** **赤林 英夫・大垣 昌夫** **伊澤 聡一郎＆恵美**
15:15 16:05	**分科会6 Workshop 6** **6-S** 子どもたちにもっと多く、より良いものを期待する Expect More & Better Of Them **6-A** 中島家のホームスクール **6-B** CSS Part2 各教科のメソッド紹介編 **6-C** OB/OG/ユースセッション ＊どなたでも参加OKです Part2 OB/OG ホームスクーリングセミナー ＆ ディスカッション **6-D** 経済実験(慶應義塾大学、予約) **6-E** あれからの松本家(祈りと主に支えられて)	**グレッグ・ハリス** **Gregg Harris** **中島 若樹＆啓子** **伊澤聡一郎＆恵美・堀井卓** **CSS(チアサポートスクール)** **稲葉 寛夫** **赤林 英夫・大垣 昌夫** **松本 明＆真寿美**
16:30 17:00	**フィナーレ ＆ チルミニ賛美** Finale & Children choir	

お知らせ：

講演時間中、赤ちゃん・幼児、ベビーシッター OK です！（0 歳児より / 東京・大阪）
大阪会場、駐車場 OK です。160 台以上。1 日 500 円。6/ 1より新館オープンの恩恵です。
あじさい展も同時開催です。アクセス、宿泊情報等、詳細はチア HP または事務局まで。

東 京 会 場 6月9日(金)		
9:00	**受付開始** Doors open	
9:35	**プロムナード 賛美** Praise & Worship	
9:45	**挨拶と祈り** 稲葉寛夫(チア・にっぽん代表) Greeting & Pray Hiro Inaba (Chea Japan)	
10:10 11:20	**基調講演1 「なぜ、困難なことに立ち向かう子どもたちを育てるのか？」** **Why Raise Kids To Do Hard Things?**	**グレッグ・ハリス** **Gregg Harris**
11:20-40	**インフォメーション** Information	
11:40	**昼食** Lunch	
3:00-13:25	**賛美 & インフォメーション & 献金** Worship & Information & Offering	
13:40	**分科会1 Workshop 1**	
	1-A あなたが子どもたちを楽しむようになるまで訓練する Train Them Until You Like Them	**グレッグ・ハリス** **Gregg Harris**
	1-B 低年齢化する10代の性行動の対策	**辻岡 健象＆敏子**
	1-C 経済実験(慶應義塾大学、予約)	**赤林 英夫・大垣 昌夫**
	1-D 聖書に基づく地球史(1):ヨブと氷河時代	**宇佐神 実**
	1-E チャーチ＆ホームスクーリング－必ず聞かれる20 の質問	**稲葉 寛夫**
14:30	**1-F** 英語教材を使ってのホームスクールのメリットとチャレンジ ～10年の歩みを振り返って～	**辻 寿＆奈央子**
14:45	**分科会2 Workshop 2**	
	2-A 子どもたちを巻き込む価値のある、冒険に満ちた人生を送る Live An Adventure Worth Including Them In	**グレッグ・ハリス** **Gregg Harris**
	2-B 育むための権威－子どもの視点から	**ピーター**
	2-C 経済実験(慶應義塾大学、予約)	**赤林 英夫・大垣 昌夫**
	2-D 違いを生む子育てを目指して	**植野 伸一＆愛**
	2-E お受験パパがホームスクールへ	**横田 英孝**
15:35	**2-F** CSS ホームスクーリングは神様からの最強・最新の教育法！ 改革365日めのワクワクレポート！	**稲葉 寛夫・堀井卓・伊澤夫妻** **CSS(チアサポートスクール)**
15:50	**分科会3 Workshop 3**	
	3-A 子どもたちの退屈を楽しいことに活用する Harness Their Boredom With Delight	**グレッグ・ハリス** **Gregg Harris**
	3-B 子をその行く道にふさわしく教育せよ。 そうすれば、年老いても、それから離れない。箴言22:6	**太田 仁一**
	3-C 経済実験(慶應義塾大学、予約)	**赤林 英夫・大垣 昌夫**
	3-D 英語カリキュラムGrapeSEEDの効果的な学習 前編	**藤原 政信(グレープシティー)**
	3-E 成長させたのは神です－教会とホームスクーリング	**堀井 洋二**
16:40	**3-F** 親子で実践できるプレゼンテーション	**関 智征＆知香**
17:00	**夕食** Dinner	
19:00 21:00	**賛美＆自己紹介＆アップデートタイム Update Time**	

コンベンション自主企画大募集！

<白馬セミナー２０１６ 結果報告（五十音順）>

- 稲葉 ジョセフ ジョセフクッキー 完売
- 金 喜望 シフォンケーキ 完売
- セイヤーさんのフィリピン宣教企画 好評
- 棚田 伊作 消しゴムスタンプ 完売

<コンベンション 2017 （受付中）>

- 稲葉 ジョセフ 子どもカフェ
- 辻はじめ 「絵本翻訳作品展示」

➡オフィスに相談ください！

東 京 会 場 6月10日(土)		
9:00	**受付開始** Doors open	
9:20	**プロムナード 賛美** Praise & Worship	
9:30	**挨拶と祈り** 稲葉寛夫 Greeting & Pray Hiro Inaba	
9:50	**基調講演 「良い木 Vs 悪い木」**	**グレッグ・ハリス**
11:00	The Good Tree Vs The Bad Tree	**Gregg Harris**
11:15	**分科会4 Workshop 4**	
	4-A 子どもたちの分野において、賢者ソロモンを見つけ出す	**グレッグ・ハリス**
	Seek Out The Solomon in Their Field	**Gregg Harris**
	4-B 聖書に基づく地球史(2):聖書に基づく地質年代	**宇佐神 実**
	4-C 経済実験(慶應義塾大学、予約)	**赤林 英夫・大垣 昌夫**
	4-D 堀井家、ホームスクール11年目に！！	**堀井 卓**
	4-E 父と母と子によるホームスクーリングの体験談	**中山 史郎＆薫子**
	4-F 英語カリキュラムGrapeSEEDの効果的な学習 後編	**藤原 政信(グレープシティー)**
12:05		
12:05	**昼食** Lunch	
13:20	**賛美 & 絵画・写真コンテスト表彰式 & インフォメーション & 献金**	
14:00	Worship & Awarding ceremony of painting and photo contest & Information & Offering	
14:20	**分科会5 Workshop 5**	
	5-A 単なる消費者でなく、プロデューサー・企画者・生産者として育てる	**グレッグ・ハリス**
	Raise Them to Be Producers, Not Just Consumers	**Gregg Harris**
	5-B わたしの恵みはあなたに十分である。	**井上 正人＆知恵**
	Ⅱコリント12:9－弱さの中に完全に現れてくださる主－	
	5-C 経済実験(慶應義塾大学、予約)	**赤林 英夫・大垣 昌夫**
	5-D CSS Part2 各教科のメソッド紹介編	**伊澤聡一郎＆恵美・堀井 卓**
		CSS(チアサポートスクール)
	5-E 神様に教えられている教育の目的について	**十三男 ブローマン**
	5-F 地道なホームスクーリングと福音伝道	**松岡 淳裕**
	5-G OB/OG/ユースセッション ＊どなたでも参加OKです	**稲葉 寛夫**
	ホームスクーリングをどう理解し、伝え、実践していくか	
15:10	Part1 ドキュメンタリー映画 ホームスク―ラー ドロップアウト鑑賞会	
15:25	**分科会6 Workshop 6**	
	6-A 子どもたちにもっと多く、より良いものを期待する	**グレッグ・ハリス**
	Expect More & Better Of Them	**Gregg Harris**
	6-B 子どもを主のために育てる	**マタイ ブローマン**
	6-C 経済実験(慶應義塾大学、予約)	**赤林 英夫・大垣 昌夫**
	6-D ホームスクールだからこそできる！英語脳の作り方！	**伊澤 聡一郎＆恵美**
	6-E お父さん集まれ！(男性限定、将来のお父さんも参加可)	**志賀 信泰**
	6-F 怒涛の4人姉弟ホームスクール。現状と課題。	**菊地 幸樹＆あかり**
	6-G OB/OG/ユースセッション ＊どなたでも参加OKです	**稲葉 寛夫**
16:15	Part2 OB/OG ホームスクーリングセミナー＆ディスカッション	
16:35-17:10	**フィナーレ & チルミニ賛美** Finale & Children choir	

大阪コンベンション企画！
体の中の不思議を知ろう！ ★シカ解剖実験★

今年は二ホンジカの赤ちゃんの解剖です。全国的に二ホンジカが増えていて、農作物を荒らしたり、森の草木を食べつくしてしまう問題がおこっています。そのため、多くのシカが駆除されています。岩手県五葉山にて、駆除された母鹿のお腹の中に入っていた赤ちゃん鹿です。猟師さんが、赤ちゃん鹿を博物館に寄贈してくださいました。

（大阪自然史センター　米澤里美さんより）

実施日：２０１７年6月２日（金）午後
分科会１のチルミニの時間帯に
子どもたち向け（2 ～ 18 歳）で開催！

＊米澤里美講師は、チアスタッフ米澤輝美さんのお姉さん。現在、大阪の長居にある大阪自然史博物館にて子どもたちのワークショップなどを担当し、動物や植物から学べることを人々に伝える働きをしています！

絵画･写真の締め切り延長します！ 5 月 26 日が最終締め切り！ぜひご参加を！

第 8 回　チア・にっぽん杯
絵画コンクール

＜応募要項＞

■テーマ：聖書のストーリーから題材を決め、自分のイメージを絵画にしてください。
■部　門：（1）幼稚園の部
（2）小学生の部
（3）中高生の部
（4）一般の部
■サイズ：自由
■応募方法:必ず、作品の裏に、氏名（フリガナ）、住所、学年、年齢、性別、電話番号、絵のタイトル、その絵を描いた理由（100 文字以内）、着払い返却希望の有無を書いて、お送り下さい。

第 2 回　チア・にっぽん杯
写真コンテスト

＜応募要項＞

◆ テーマ：被写体から見えてくる聖書のストーリー。素材は自由（自然、動物、人物ほか）
◆ 部門：（1）９歳以下　（2）１０－１２歳
（3）１３－１５歳　（4）１６－１８歳
（5）１９歳以上
◆ サイズ：Ａ４サイズ以上
◆ 応募方法：必ず作品の裏に、氏名（フリガナ）、住所、年齢、電話番号、Ｅメール、写真のタイトル、その写真から見えてくる聖書のストーリー（１００字以内）、着払い返却希望の有無を書いて、お送りください。

☆額に入れても OK です！ぜひご参加を☆

■応募締切：2017 年 5 月 26 日（金）■送付先：東京都東村山市栄町 1-5-4-103 チア・にっぽん事務局

2/13-17

★バイブルミュージアム★
アイテム積み下ろしボランティア感想文

●ボランティアに参加して、５台のハイキューブ大型コンテナの積み下ろしや愛郷スクールの掃除、共同生活など貴重な体験をすることができました。

特に合計約 32 トンになるアイテム積み下ろしでは、エイジング加工の施された扉や壺、１世紀のイスラエルを想像させるインドから直輸入の農具などに触れることができて、聖書の時代をリアルに実感することができました。でも、十字架や神殿の扉、本物そっくりのオリーブの木など、10 人でないと運べないほど重たい物や大きな物もあり、気の抜けない大変な仕事でもありました。また、共同生活ではいつも会うことのできない友だちや、会ったことのなかった方々と交われて良かったです。

そして、このボランティアを通して、神様の恵みを沢山体験することができました。天候も守られ、大きな怪我もなく、何よりコンテナの税関通過が許されたことは、神様が与えてくれた大きな恵みでした。もし、通過が許されなければ抜き取り検査から全品検査に切り替えられ、ボランティアは延期になると聞かされていたので、特別に神様の深い憐れみを感じました。

この５日間を通して、２つの御言葉が心に残りました。１つ目は『あなたの隣人をあなた自身のように愛せよ』(マタイ 19:19)です。仕事が終わって疲れると、友だちに対して冷たい態度をとってしまい、きつい言葉を言ってしまったことが何度かありました。しかし、この御言葉を思い出し、自分の内にある自己中心の罪を気づかされました。２つ目は、『小さいことに忠実な人は、大きいことにも忠実であり、小さいことに不忠実な人は、大きいことにも不忠実です。』（ルカ 16：10）です。２日目の夕食の食器洗いを終えた後に、すぐに料理長に呼び出され、洗面器についている

泡や水滴などをきれいに拭くように注意されました。僕自身、小さな水滴や泡のことなどまったく気にしていなかったので、最初はなぜ拭かなければならないのか分かりませんでした。その時にこの御言葉が心に浮かび、自分の不忠実さを思わされました。そのことがあってからは、もっと物事に慎重に取り組むように心がけました。

ボランティアが終わり家に帰ってきて、チアマガジンを読みました。そのとき、CT スタッド宣教師の「すべては過ぎ去る。でも、キリストのためにしたことは永遠に残る。」という言葉を読みました。今回のボランティアは大変で疲れたけれど、少しでも神様の働きの役に立ったのかなと思い、感謝でした。５日間ありがとうございました。　（埼玉　Ａくん）

●バイブルミュージアムアイテム積み下ろしボランティアに参加できて感謝な時でした！まず、今回のボランティアに参加できて、作業しながら、また帰って来てからも改めて本当に良かった、良い経験ができたと思いました。このボランティアについて聞いたとき、行きたい！と思いましたが、約１週間のスケジュールだったので勉強のことやボランティア後の予定などで参加するかすごく悩みました。最初は行かないと決めようとしましたが、それでも行きたいという思いと、何よりも神様の導きを感じ、自分の予定はいろいろあるけどそれ以上の祝福と良い経験を神様が与えて下さるんじゃないかと思い、参加することを決めました。

出発する時、覚悟はして行きました。申し込む前に稲葉さんの文章を読んだ時、この積み下ろしの作業は今まで経験したことのない大変な力仕事であり、大きな危険を伴うことが分かったからです。１つでもミスしたら大きな怪我をする可能性がある、もしかしたら人生初の骨折だってあり得る、そういう心配が出てきました。でも神様は最後まで作業する全員と共にいて下さると信じ行きました。初めて間近で見るコンテナは大きかったです。そしてその中に大量に詰め込まれていたアイテムにビックリしました。中には１人で持てるようなものから、750kg くらいの人間の力だけでは持ち上がらないものまでありました。それらを運びながら聖書の時代の道具はこんなものだったんだと手に取って感じました。

コンテナから積み下ろしてそれを学校の教室などに入れる作業はきつかったです。３日目４日目になってくると、積み下ろしの作業が夜の夢にまで出てきました（笑）。夢の中のその作業が現実そっくりだったのが、今も少し記憶に残っています（笑）。けれどもすごくやりがいのある、楽しい作業でもありました。

そこでの生活もすごく良かったです。食事もすごくおいしかったし、寝る環境も良く、夜は気持ちよく寝ることができました。そして僕にとってはめったにない集団生活、多くの人たちと交わりもできてとても良かったです。

そしてこれは本当に神様の恵みだと感じたのが、元々月曜日から土曜日までのスケジュールの予定が金曜日に帰れるという１日スケジュールが早くなったことです。火曜日から

木曜日の間に計５本のコンテナの積み下ろしが完了しました。月曜日バスで東京を出発する時、その日コンテナが税関で問題が起きてしまったら木曜日くらいに途中帰宅という可能性があったのが、なんと全部の作業を終えて予定より１日も早く帰るなんて想像もしていませんでした。僕は元から１日早く金曜日に帰らせてもらうことになっていたので、僕自身の予定に大きな変化はなかったのですが、これは神様の力があってこその結果だと思います。

最終的に誰も骨折など大きな怪我なく終われて良かったです。出発する前、筋肉痛は相当な覚悟を持って行きましたが、火曜日あたりがピークで、それからは体が力仕事仕様になったのか筋肉痛はほとんどなくなり、こんなに重たいものたくさん持っているのに何で痛くならないんだ？とビックリしました（笑）。本当に神様が大きな祝福と経験を与えて下さり感謝でした！このバイブルミュージアムの計画が主にあって良いものとなっていくように祈っていきたいです！　（神奈川　Ｂくん）

●今回、新しく知り合った子や、中学生とか年下の子も多かったですが、皆１つの目的に向かって１つになって頑張ることが出来て、とても楽しかったです。

実際に大きなコンテナや重そうな荷物を見た時は、体力が少し心配になりました。でも、初日の夜の堀井さんのメッセージで、稲葉さんがこのプロジェクトを進める中で、困難や試練が沢山あっても１つも諦めずに、神様の導きを信じて前進してきた事から、神様にあってNever give up だということが語られたのを思い出しました。諦めたくなるときは、いくらでも理由を付けて正当化出来るけれど、でもその先にある神様の祝福やご計画を見ることは出来ない。最近、勉強ややるべき事で嫌だと思ったり、難しいと感じたら、すぐに逃げようとしていた事を、神様に示された気がしました。どんなに大きくて重い荷物でも、男女関係なく誰も不平を言わずに積極的に協力しあって運ぶ中で、すごく励まされました。実際に２日目から筋肉痛がひどかったですが、心身共に鍛えられて逆に嬉しい痛みでした（笑）。

ボランティアはお金が貰えたり、何か見返りがあるわけでは無いけれど、校舎の教室に積み上げられていく荷物の山を見ながら、これが天に宝を積んでいくことなのかなぁ、と思いました。バイブルミュージアムという大きなプロジェクトにほんの小さなお手伝いですが、参加させて頂けて本当に感謝しています。また機会があれば参加したいです。　（愛知　Ｃさん）

●今回のボランティア活動は、最初は楽しみだったのですが、実はその後少し行きたくなくなりました。何故なら女子は料理だけをすると思っていたからです。しかし、そ

の後両親と行く意義を話し合い、これはみんなに会えるから行くのではなく、楽しみのために行くのでもなく、重労働を通して本当の意味で仕えることを学ばせてもらう機会なのだと思い、参加させてもらうことにしました。

実際ボランティアに行ってみて、私が年長者グループだったので、良いリーダーになれないのでないか、と初日は少しストレスを感じました。しかしリーダーシップをとることよりも、自分がしっかりとした目的を持っていることが大事だということに気づかされ、仕事も一生懸命しようと再び思えました。ちなみに、みんなで過ごす中で、年下のみんなが本当に可愛いと思いました。あれほど素直で可愛いのはホームスクールで育ったからかなと思います！

仕事は、事前の予想と違い、自分が願っていた重いダンボールを運ぶ仕事が多く与えられ、少し筋肉痛にもなるほどでした。荷物を運ぶことだけでなく、料理をしたり学校を掃除できたことも本当に良かったです。まず料理は、あれほど大人数の食事を作ったことがなかったので、とても新鮮で良い体験ができたと思います。裏の奉仕を見、大変さを少しだけ実感できたことも感謝でした。また、とにかく楽しかったです！学校の掃除も充実していました。私はプラスチック、金属の仕分けなどの細かい作業が得意でないので、忍耐力を学べたかなと思います。

また、聖書からのメッセージを毎日聴けたことは本当に良かったです。毎日チャレンジを受け、仕事をきちんとするモチベーションにもなりました。本当に、今回のボランティアに参加できて良かったです！労働や交わりを通して、日々のホームスクールではできない様々な貴重な体験ができたと思います。企画してくれた皆さんに感謝です！また機会があれば是非参加したいです。本当にありがとうございました！！　　（東京　Ｄさん）

●本当のことをいうと、私はあまりボランティアに行きたくありませんでした。外泊自体があまり好きではないし、嫌なことがあったらどうしよう、仲間はずれになったらどうしよう、と、とても不安でした。ですが、行ってみたら、とてもとても楽しくて、今は本当に行ってよかったな、と思っています。仕事はとても大変でしたが、やりがいはあったし、楽しいことも沢山あり、とても充実した五日間でした。

二番目に、私は力がなく、かといって料理がうまいわけでもないのに、行ってもやることがあるのだろうか、という不安もありましたが、行ってみると、確かに荷物は重かったですが、軽い荷物から始めて、だんだん重い荷物を運びながら、筋肉疲労を恐れず喜びながら訓練していく方法を教えてくださったので、「これは絶対無理！」と感じたり、鼻血が出たり、ということはなく、全て持つことが出来ました！軽い腕の筋肉痛はあったものの、

みんなで、「痛い痛い」と笑い飛ばせるほどの痛みで、逆にちょっと気持ちいい、というか、面白かったです。

料理も、味付けや火を使う作業など、難しい工程は全てノリさんや年上のボランティアの皆さんがやってくれて、食材を洗う、切る、キッチンを掃除するなどの仕事だけをやったので、全く困りませんでした。また、四十人分の料理なので、量がすべてにおいてとても多くて、びっくりしました。特に、ご飯を40合も炊いた時は、(私ではなく、別の子が洗うのを隣で見ていたのですが) とても洗うのが大変そうで、すごいな、と思いましたが、そのご飯が全部なくなったのを見て、もっと驚きました。楽しいことが多かったです。

シュロの木の葉っぱ運び（イエスのエルサレム入城シーン用）

特に、最終日に壺などを並べて小さな美術館を作ったのは興味深かったです。そういったもののなかには、タコ焼き器のような小さな穴が沢山開いたお皿や、何に使うのかよくわからない色々な物、ランプ、私の身長ぐらいあるのに、片手で持てるほど軽い壺など、見ているだけで、どんなことに使うのだろう、あの時代はこんなものを使っていたんだな、とまるで宝探しや推理をしている気分になりました。特に、まるでシェフがかき回していそうな雰囲気の、とても大きい銅鍋があったのですが、中に入ってもいいよ、と言われ、中に代わる代わる入ったことには、とてもわくわくしました！

人間関係についても、とても楽しく、色々な子と沢山話しをしたり、活動をすることが出来てとてもいい時が持てたと思っています！沢山のお菓子が次の日の夜には全てなくなってしまったり、それぐらい、沢山話すことが出来て嬉しかったです。朝早く起きて外へ散歩に行く子もいて、四時半あたりから色々な子のアラームが鳴りだし、鳴ったアラームの主の子が起きている様子が、聞いていて楽しく、朝の時間はとても好きでした。映画や劇のワンシーンみたい！素敵！と一人で盛り上がっていました。

また、今回はサバイバル体験、ということで、(もちろん海外に行っている伝道チームに比べたら、とても恵まれた環境にいるのですが) 普段生活していて、思いもよらなかったことをいくつか経験しました。例えば、女子寮にも学校にも、もちろんヒーターはありません。ストーブは女子寮やキッチン、食堂にありましたが、ボタンを押したらすぐに暖かくなるわけではなく、少し待って、やっと火が付きます。そういった不便さも、今まで感じたことがなく、体験して、今まで自分がとても恵まれた環境にいたんだな、と思いました。けれど、そういった人里離れた学校だからこそ体験できたこともありました。とりわけ、星空はとても印象的でした。夜空は、とても素晴らしく感じられ、空に呑まれそう、星が落ちてきそう、といった言葉の意味を体感することができました。このような空をお造りになった神様は、本当に人間には真似なんて到

底できないほど、すごい方なんだなぁと改めて思い知りました。

最後に、聖書についても良い学びができました。特に最後のトーマスさんの、「毎日が、神様の言うことを聞くか聞かないか、選択だよ」というメッセージがとても心に残っていて、それ以降、何かするとき、これは神様が喜ぶ行動かな、それとも悲しむ行動かな、と考えることが出来るようになりました。他の様々なメッセージも本当に素晴らしかったです！また、最終日、全ての作業が終わった直後に雨が本降りになった時は、神様は私たちのことを祝福し、色々な方法で支えてくださっていたのだなと気が付き、とても驚きました。本当に霊的にも、肉体的にも、成長できた五日間でした。次回のボランティアにも、参加させていただきたいです！五日間、ありがとうございました！　　（東京　Ｅさん）

●今回のボランティアに参加した理由とその感想を述べる。このボランティアに参加することを決めた理由は二つある。

一つ目は、一つ一つの作業などを通して得られる経験が自分自身の成長につながることを期待したからだ。二つ目は、自分以外の参加者との交わりを通して激励を受け、勇気づけられることを望んだからだ。

今回のボランティアに参加することによって学ばされたことは、一瞬一瞬に集中することの大切さだ。考え事ばかりしていると作業に支障を来たしてしまう。今回の経験を通して、普段の生活においても意味を成さない考え事をしたり、将来の心配をしたりすることで各瞬間に集中できていなかったことに気づかされた。また、伝道者の方々と過ごす中で、伝道に対する熱意が新たにされたことを感じた。このようなすばらしいボランティアに参加する機会を与えて下さった一人一人に、この場にて感謝の意を表することができればと思う。　　（東京　Ｆくん）

●今回、バイブルミュージアムのボランティアに参加して、アクシデントがあったけど、とても良い経験ができて楽しかったです。１日目は、保存場所の清掃や準備で、あっという間に感じました。２日目から本当の重労働が始まりました。コンテナから出てきた小さいお皿から、高さが４ｍほどありそうな大きな扉まで、たくさんの物をみんなで運びました。４日目のことです。荷物を運んで、校内に戻ろうとトラックの横を通った時、「イタッ！」右足の土踏まずのところに痛みが走りました。見ると、足元には釘の刺さった木が置いてあり、よく見ていなかったので、踏んでしまいました。「ばんそうこうありますか？」すぐに稲葉さんに聞きました。そして、消毒液となぜかトーマスさんにイソジンを塗ってもらい、稲葉さんとすぐに近くの病院に行きました。病院の先生は、「これくらいなら問題はないだろう」とおっしゃっていたので、安心しました。その後は、特に大きな痛みも感じなかったので、みんなと作業に戻りました。このことで、皆さんには心配をかけてしまいました。自分の傷は小さな傷だったけど、イエス様がその何百倍もの痛みを受けて、十字架に架かってくださったんだなぁと思いました。最終日は、学校の掃除と用具の片づけをして終わりました。あっという間の５日間でしたが、とても良い経験ができました。ありがとうございました。　　（富山　Ｇくん）

●「神の御国の建設に携われる喜び」

「見よ。兄弟たちが一つになって共に住むことは、なんという幸せ、なんという楽しさであろう。それは頭の上に注がれた尊い油のようだ。それは髭に、アロンの髭に流れて　その衣の襟にまで流れ滴る。それはまたシオンの山々におりるヘルモンの露にも似ている。主がそこにとこしえのいのちの祝福を命じられたからである。」詩篇 133 篇

今回、神の民と共にバイブルミュージアムのボランティア活動に携われた事を心より神

様と、スタッフの皆さんに感謝します。全てが祝福されたボランティア活動でした。現場監督をされた丸森の方々の指導もとても良かったです。チームワーク良く働き、個人とチームの相乗効果は絶大でした。

この働きを通して、バイブルミュージアムで展示される物を見ることが出来、新約時代の聖書のストーリーが頭に浮かびました。日ごろ触れることができない、沢山の物に触れ、とても興奮し楽しかったです。日本にバイブルミュージアムができることを想像し、その素晴らしさにワクワクしました。又、丸森の方々に、走っているトラックの荷台に乗せて頂き、日常ではあり得ない体験をさせてもらえ、ここでも興奮しました。僕は木曜に帰る予定でしたので、その晩に行く温泉には行けないはずでした。しかし、神様の憐れみで、何と温泉行きが水曜に変更され、温泉に行くことが出来ました。ここでも、温泉の楽しみだけではなく、往復のバスの中で兄弟たちと良い交わりができ、神様に祝福され、とても良い思い出になりました。

その他にも、ここでは書ききれないほど多くの貴重な体験ができ、唯々神様に感謝でした。今回残念ながら、筋肉不足のため、少し肩が痛みましたが、これも神様がすべてを働かせて益としてくださいました。今は次回のボランティア活動に備えて筋トレを頑張っています。次回も楽しみにしています。

「互いに愛し合いなさい。わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合いなさい。もし互いの間に愛があるなら、それによってあなたがたがわたしの弟子であることを、すべての人が認めるのです。」ヨハネ 13 章 35 節 「いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。すべての事について、感謝しなさい。これが、キリスト・イエスにあって神があなたがたに望んでおられることです。」Ⅰテサロニケ 5 章 16 節～ 18 節

感謝して （東京　Ｈくん）

●今回、参加させていただいたボランティアは自分にとって、とても貴重な体験になりました。キリストの時代に使われていた物のレプリカにたくさん触れました。どれも、エイジングが素晴らしく、新品には見えないようなものばかりでした。作業の中でトーマスさん、航二さん、落合さん、ほかのみなさんにもたくさん教えられ、励まされました。夕食の時の、メッセージもとても心に刺さりました。今まであまりコミニケーションできなかった北陸、長野の兄弟たちと交われたのもよかったです。行き帰りのバスの中での交わりもとてもいいものでした。ふろ掃除に覚醒してしまったのもいい思い出ですね（笑）またこのようなボランティアの機会、そして交わりの機会が与えられることを祈りつつ締めさせていただきます。本当にありがとうございました。 （東京　Ｉくん）

●今回二度目の愛郷の手伝いへ参加できて嬉しく思う。前に愛郷に行って以来、「また愛郷へ行きたいな」と思っていて、母から「愛郷の手伝い、また募集してるよ」と聞き、これはぜひ行きたいということで参加させてもらった。今回は前とは違い、大掛かりな作業で物もとても重かった。でも、みんなで協力して運搬をしてとても楽しくもあった。今回荷物を運搬していて感じたことは、今回も常に神様の祝福があったなということ、聖書の世界が身近に感じられたこと、制作された人々の熱意と技術だった。

まず、神様の祝福については、はじめから最後までほんとに祝福されていたと思った。愛郷に行く前の準備の際、防護靴や作業服を持ってくるようにとのことだったが、作業中動きやすかったし、運搬時、荷物がとても重く足を挟まれそうなときもあり、ごみの処理のとき、危ない物を踏んでしまうことも少なくなく、安全も守られたと感じた。今回チアオフィスに前泊したが、僕は早起きが苦手なのですごく助かった。愛郷での作業の数時間

だけ雪が降ったが、積もらなかった。少なくとも僕とＪ君はとても楽しめ、交通も守られて、本当に神様ってすごいな、と実感した。「検査に通過できないかも」といわれていた荷物が何事もなく無事通過し愛郷に届いたことは、すごいと思った。一時は「もし荷物が来なかったらどうなるのだろう」と考えた。愛郷温泉に行った帰り道には、野生のニホンジカに遭遇できた。そして何より、作業が早く終わり予定の一日前に帰れたのは、いい意味で思いがけない出来事だった。

次に聖書の世界が身近に感じられたことについては、とても貴重な体験だった。レプリカではあるが聖書時代の品々を実際に目にして、手にして、「聖書に出てくる時代の人々はこういうものを使っていたんだな」と聖書の世界を身を持って体感できた。たとえば木製のリアカー（のようなもの）は、車輪や車輪の軸までもが木でできており、当時の人々の器用さや生活を思い起こさせ、陶器類は当時の人々がどのような食生活をしていたのだろうかと想像せずにはいられなかった。

続いて制作された方々の熱意と技術については、「素晴らしい」の一言に尽きる。作品はエイジング加工で聖書時代の品々を忠実に再現され、見ているだけで聖書の世界に入り込めてしまうような物であった。これも神様の力なしでは成り得なかっただろう。実に制作者たちの熱意が伝わってきた。

今回、大勢の人が参加し、その中でたくさん良い交わりができたことも良かった。運搬中は声をかけ合ったり、協力し合い良いチームワークだったと思う。そして、大小軽重さまざまな荷物がある中でもお互いに笑顔で楽しく運搬できた。作業時以外でも、あんまり話したことがなかった子と親しくなれたり、すでに友だちの子ともより親交を深められたかな、と思う。この愛郷の手伝いで神様をより身近に感じられたとともに、素晴らしい体験ができたと思う。そして、次回もまたぜひ参加したいと思った。　　（神奈川　Ｊくん）

★★★★親の皆さんから★★★

●昨夜、息子が無事帰宅いたしました。疲れてはいましたが充実感のある表情をしていました。良い機会を与えてくださり感謝します。作業も順調に進んだとのこと、主の御名を賛美します。今後ともよろしくお願いします。
（東京　Ｋさん）

●娘が帰ってきました。５日間、本当にありがとうございました。多少不安だったようですが、仕事そのものに集中出来、また年下の子どもたちがなついてくれて、可愛くて仕方なかった、充実していた、と帰ってくるなり興奮気味に話してくれました。一方で、チアスタッフと丸森の皆様にはいつもながら大変お世話になりました。ただですらハードな仕事に加えて、子どもたちへの様々なご配慮やご心配もあったと思います。税関も無事にク

リアしたそうで、このプロジェクトに対する神様の祝福を感じます。娘も聖書に出てくるアイテムを興味深く見ていた（また運んだ）とのこと。最近、考古学にも興味を持っていたので Good timing! でした。本当にお疲れ様でした。どうぞ、ゆっくりお休みになってください（可能な限り）。感謝して

（東京　Ｌさん＆Ｍさん）

●息子が大変お世話になり誠に有難うございました。日頃、このような訓練を与える機会がなかなかありませんでしたので、主の為に働くことを学べたのは本人にとって、大きな益となりました。神の民とともに働く素晴らしさを体験させてもらえ、み言葉を実践する場が与えられ、兄弟姉妹の交わりも祝福され、心より感謝します。バイブルミュージアムの為に祈ります。今から楽しみにしています。主に栄光がありますように。

（東京　Ｎさん＆Ｏさん）

●今回はじめて、このようなボランティア活動に参加できたことは、息子にとってとても貴重な経験となったと思います。４０名以上の働き人もすごいですが、食事や寝床、灯油の準備などのバックアップして下さった裏方の方々にも感謝申し上げます。次回もあるとのことですが、もし行けるようならまた行かせたいなと思っております。いろいろとありがとうございました。

（富山　Ｐさん）

●この度は息子が大変お世話になりました。息子がけがをしたと連絡をいただいた時は、本当にびっくりし、足の裏に釘がささっと聞き、どの程度の傷なのか、心配になりました。けれどもお医者さんからも大したことはないと言われたとのことで安心しました。今日無事に家に着いた息子の足の裏を見ましたが、ほとんど傷口がわからないくらいでした。わざわざ、診察を受けさせて下さったこと、本当にありがたく思っています。細やかな対応に感謝します。イエス様が十字架の上で私たちの罪のために打たれた傷を思います。どれだけの痛みを受けられたか、息子の痛みなど、取るに足らないものです。ただ、主のあわれみに感謝します。これからも、よろしくお願いいたします。主に在って。

（富山　Ｑさん）

●愛郷でのボランティアでは子どもたちが大変お世話になりました。ありがとうございます！とても貴重な体験で、二人とも素晴らしいリーダー達と、同世代のホームスクーラーと一緒に過ごし、本当に楽しい時間だったようです。娘は今でも、ほとんど毎日私に愛郷でどんなことがあったのか、話しを聞かせてくれます。また、新しいお友達とも文通を始めました。

（奈良　Ｒさん）

慶應義塾大学　赤林・大垣教授から

「世界観の経済行動への影響」研究にご協力への感謝とお願いです

2011年より2014年まで毎年と2016年の白馬セミナーで、また2013年より2015年まで毎年コンベンションでも同様の研究を実施し、多くの方にご協力いただき、心から感謝しています。次回はチア・コンベンション2017の参加者の皆さんに、私どもの研究へのご協力をお願いいたします。ご協力いただける方には、アンケート調査とともに、親子でゲーム式実験に参加していただきます。協力謝金をお支払いします。アンケートと実験結果は研究目的以外には使用しません。詳細はコンベンション参加者の方に郵送いたします。（今年は白馬セミナーの実験予定はなく、年に1度の機会です。）

Keio University

1858 CALAMVS GLADIO FORTIOR

お問い合わせは、慶應義塾大学　大垣研究室

メール：mogaki@econ.keio.ac.jp　電話：03-5418-6403

赤林英夫 慶應義塾大学経済学部 教授

大垣昌夫 慶應義塾大学経済学部 教授

★白馬セミナーアンケート Part 3 ★

11/17 ～ 19「励ましとチャレンジセミナー in 白馬」での参加者の声、第三弾をお届けします！

＊＊＊＊＊＊大人＊＊＊＊＊＊

●とてもよかったです。ホテルの食事がまたグレードアップして嬉しかったです。肉の糧だけでなく、霊の糧でも満腹です。マイクさんの基調講演で、ホームスクールは他国でもとどめられようとしていることを学び、ホームスクールできていること自体が大きな祝福だと励まされました。

（東京　A さん）

●全部よかった。ホームスクーラー同窓会、とても良かったです！もし結婚して子どもが生まれたらホームスクーリングしたいですか？という質問を我が子（10 歳）にしたところ、「もちろん」との回答。そして、「父の心を子に向けて、子の心を父に向けるにはホームスクーリングしかないからだよ。」と言ってくれたことが大変励ましになりました。

（山形　B さん）

●日頃、関東ではお会いできない方々と交われて感謝でした。色々なつながりが明らかになって、主の交わりの豊かさを味わうことができました。マイクさんが、法律関係のもっと固い話なのかと思っていましたが、とても面白かったり、プラクティカルな話も聞けて、とっても学ぶ機会を与えていただきました。今まで政治に関心はありませんでしたが、そう言っていられない時を迎えていることに気づきました。子どもたち、孫たちの時代にホームスクーリングをし続けつつ、キリストを主としてあがめることができる環境を今、守り、整える大事な時であることを学びました。これから、できることをしてゆきたいです。

（東京　C さん）

●三年振りに家族全員で参加できて大変うれしかったです。家族一人一人が自分たちに必要なメッセージを聞くことができたようで、帰りの車の中ではそれぞれの感想や意見を語り合うことになり、すぐに家に着いたように感じました。この時期に家族全員で参加できたことは私たちにとって大変良い機会となりました。どうもありがとうございました。今回の内容は「ホームスクールの実」とか、「第二世代のホームスクール」をこれまでよりも感じられたものでした。「子どもたちの中で、ホームスクールはどのように映っているのか」は、大きなもので大変参考になりました。その中で、原点「ホームスクールの目的」を改めて確認する時となりました。

（長野　D さん）

●家族全員で全日参加は考えていませんでしたが、神様が願っておられることだと気付かされました。家族でゆったりと３日間を過ごすことができ、数えきれない恵みをいただき、本当にこれがベストで、この形でなければダメだったと思わされました。今年は特に、新しい白馬セミナーという気がしました。献身的に働いておられる丸森スタッフの皆さんの姿にいつも以上に感銘を受けました。進行がとてもスムーズで落ち着いて楽しめました。スタッフの皆さんありがとうございました！！同窓会企画は、内心ドキドキでしたが、イスラエルさん、マイクさんそして、柴橋さんのお話を直接聞けたことは、大事な年齢の子どもたちにとって、ものすごく大きなことであったと思います。ティーンや 20 代の子どもたちに重荷を持って、彼らに向かってまっすぐ語ってくださっていることが伝わってきて、私も嬉しかったです。帰りの車の中で、受けた恵みをそれぞれ、分かち合ってくれて、子どもたちとこんなに一体感を持って参加した白馬は初めてだったなあ、と感慨深かったです。子どもたちの成長を感じました。我が家ではまだまだホームスクール現役ですが、１８歳でもうホームスクールを卒業して、それぞれの場所で戦っている子どもたちがいることを目のあたりにして、祈りの必要性を強く感じました。その子どものためにも、原点に帰る時として同窓会企画は必要だと思いました。法案のこともあり、稲葉さんはじめスタッフの皆さんの体が心配ですが、今しかできない事をやる時には、主が責任を持って必要な力を注ぎ続けてくださると信じて、私達もお祈りで応援し続けたいと思います。これからも、聖霊の声に敏感に、大事なところはぶれずに、主に従い続けてください。チアの歩みの秘訣「へりくだって神と歩む姿勢」本当にそうだと思います。これからもどうぞよろしくお願いいたします。

（長野　E さん）

●とても楽しかったです。参加して良かったと思っています。霊の糧を受け続けながら３日間を過ごせて感謝です。また、主人ともホームスクールについて沢山話す機会が与えられ、夫婦の関係もさらに潤い、強められた気がします。ホームスクールは単なる教育法ではない事がはっきりと分かり、やっぱりホームスクールを決めてよかった、それを行えることに心から神に感謝です。主人が日本語を話さないのでアメリカからのスピーカーの方々の話が本当にありがたく、主人も沢山質問できてこの機会を大いに楽しめたようです。私は OB・OG の方々の話が参考になり、また、沢山笑わせてもらい楽しかったです。

（埼玉　F さん）

●分科会含めてどれも、今聞くべき内容だったなと思いました。全部ホントに聞いて良かったです！今ホームスクールをしている親に向けての講演も、将来自分たちがホームスクールする時にとても役立つと思いました。講演以外の時間も、全部楽しむことができて今回ホントに参加できてよかったなと思いました！今回の同窓会企画は、前に出て話すことを全然聞いていなかったので正直「だまされた！」と思ったんですけれど（笑）自分のためではなく、神様のために話そうと思って、少しでも聞いている人の力になればと思って話しました。沢山の人たちの前で緊張したんですけど、神様が言うべきことを話させてくださったかな、と思います。

（長野　G さん）

●自分で積極的に分科会や企画に参加できて、白馬セミナーを満喫できた気がします。同窓会企画は、今までにない試みで、沢山の子どもたちが集まる良い機会になったと思います。誘ってくださってありがとうございました。講師の方

…と思いました。
（神奈川　Iさん）

●来ることを迷っていた（来ないでおこうと思っていた）けれど、来ることができて本当に良かったです。祈りつつ、新しいことを始めていけたらと思います。子どもたちに神様の愛を伝えるのは、自分が神様に愛されていることを日々実感することが大切だと改めて思いました。特にTeenagerの発表が良かったです。
（兵庫　Jさん）

たちが、本当に私たちのことを思って親身に語ってくださっていることが分かって、とても感動しました。同窓会企画では、自分なりに今の状況や思っていることを伝える事ができて、良い場になったかなと思います。他のホームスクーラーたちが堂々と自分の考えを発表している姿もすごいと思いました。同窓会記念として、イスラエルさんや、マイクさんがしてくださったお話は本当に良かったです。いつも全力でいろんなイベントを企画、進行してくださり本当にありがとうございます！！チアの働きが報われますように！是非何かチアのお役に立ちたいと思っています。　（長野　Hさん）

●今回も本当にありがとうございました。恵まれ祝されました。いつもながら、スタッフのチームワークの良さを感じます。ジョイスさんのセッションで、「Special Needs」のある子どもたちは、「Needs」の部分に焦点があてられることが多いですが、主にあって「Special」に創られていることに目を留める事こそが大切であることを教えられました。このような子どもたちを「正そう」「なおそう」とする文化が日本にはあると言われ、はっとさせられました。子どもを見ている私自身が、主に創られている自分を感謝し、子どもを見る時に、その恵みに目が留まるようになりました。OB・OGのパネルディスカッションが良かったです。それぞれ、自分の考えをしっかりと発言していて、頼もしく思いました。人の目を気にすることなく、思っていることを正直に伝えられることは、一人一人が神様の前に、いつも正直に自分の心をさらけ出すことができているからなのだろうな

● I’m grateful to have the oppotunity to meet Christian families all across Japan. The fellowship alone was a blessing, but what was taught was a good challenge. I learned much through the seminar. I desire a course for the teens for Christian apologetics.

日本中のクリスチャンファミリーと出会え、嬉しかったです。交わり自体が祝福でしたが、教えられたこと一つ一つが、私にとって良き挑戦となり、セミナーを通してたくさんの学びがありました。ティーン向けの弁償学を学ぶコースがあればいいと思いました。
（群馬　Kさん）

●どの講演もとても良かったで

す。参加者が多いことに驚きました。普段、周りにホームスクーラーがいないので、皆さんとお交りできて、本当に嬉しかったですし、励まされました！また、スタッフ＆リーダーの皆様には子どもたちのことも含め、色々臨機応変に対応頂き、感謝でした。伊澤さんの「わが家流 Grape SEED 活用法 Part2」は、本当に参考になりました。お子さんたちのために、お母さんが奮闘された結果が実になったのだと分かり、感動しました。シェアしてくださったこと、本当に感謝です。ジョイスさんの最後の分科会にも参加できました。本当に素晴らしかった。また、お話を受け止め、子どもたちと日々を過ごしていきたいです。また皆様にお会いできる日を楽しみにしています！皆様お疲れのことと思います。ありがとうございました。

どうかお体を休ませてくださいね。稲葉さんはニュージーランドのお仕事大丈夫でしょうか？無事に終え、ご帰宅できていることを祈ります。それでは、皆様の上に神様の豊かな祝福とお守りがありますよう、お祈りいたします。

（岩手　Ｌさん）

＊＊＊＊＊＊子ども＊＊＊＊＊＊

★チルミニがすごく楽しかったです。虹を見れたことがすごくうれしかったです。稲葉さん大好き！

（神奈川　Ｍさん）

★めちゃくちゃ楽しかったです。今までの白馬で一番楽しかったです。次の白馬では旗取りや、クラフトもしたいです。

（東京　Ｎくん）

★チルミニの運動会の障害物競走とチルミニ全部が楽しかった。友だちと遊べて楽しかった。帰りのバスも楽しかったです。

（大阪　Ｏくん）

★友だちと遊びまくって楽しかった。まくらファイトは特に楽しかったです。チルミニのため、色々準備してくれて感謝です。

（大阪　Ｐさん）

★分科会に積極的に参加したのですけど、色々な人の話が聞けて勉強になってすごく面白かったです。イスラエルさんの「地の塩、世の光となるために」が印象的でした。

（長野　Ｑさん）

★各地のホームスクーラーたちと交わりができたこと感謝です。

（宮城　Ｒくん）

CSS ワクワク集中勉強合宿（5 月 4 日～6 日）も祝福の内に終えました。2 日半で 25 時間勉強！詳細は次号にて。次回は、9 月中下旬のチアわくわく合宿（どなたでも大歓迎！）ジョイスイミングも合同企画です。

★三年振りの参加だったのですけど、すごく楽しかったです。同世代の話したことのない人とも話すことができて嬉しかったです。今回は、初めて講演に出たのですけど、イスラエルさんもマイクさんも分かりやすくて、すごく面白かったです。色々な講演や分科会を聴いて、なぜホームスクールをするのか、したほうがいいのかということが、ちゃんと分かってきて良かったなと本当に思いました。

（長野　Ｓくん）

♪ボイス＆メール♫ Voice & Mail

●“主よ、あなたの憐みは豊かです”
ニュースレター 162 号を有難うございました。見えない所で主だけを見上げて地球を駆け巡っておられる代表に感謝です。“バイブルミュージアム”日本のリバイバルのための、大きな大きな主のご計画のように思えますし、それをチア・にっぽんが貢献できるチャンスをいただいたとお聞きするだけで、ホームスクーリングの日々の悩みがふっ飛んでいくみたいです。「13 歳以下だからボランティアは無理かー。」と、力持ちの孫はがっかり。「では、11 歳と９歳と７歳ができる事を始めよう。」72 歳の私は料理や洗濯は得意だけど、あなたたちを放っておく事はできないから、たとえば献金やお菓子を送るのはどうかな等、聖書の勉強の後、祈ったり話し合ったりしました。なんと外へ出ると、東は黒雲、西は夕日、そこに大きな虹が出ていました。

（岡山　A さん）

●（お問合せ）
近所の子どもたちのしつけがとてもしっかりしており、「チア・にっぽん」とホームスクーリングをしている子どもたちであることが分かりました。色々調べたところ、愛のムチという方法でしつけをされていると聞きました。具体的な内容やお話を聞いてみたいのですが、どうすればいいでしょうか？

（静岡　B さん）

➡チア・にっぽんからの回答
「チア・にっぽんでは、聖書に書かれている原則に立ち、愛を持ってしつける聖書の方法を皆さんにご紹介しています。ほぼ隔月の「ニュースレター」、年２回の季刊紙「チア・マガジン」の発行、また、「チア・コンベンション」（6 月）、「チア・サマーキャンプ」（8 月）、「白馬セミナー」（11 月）等のセミナーを通して、聖書から具体的な教えを聞き、共に学び合い、励まし合う機会が与えられています。今年は、まず６月２日～３日は大阪で、９日～ 10 日は東京でのコンベンションが開催されますので、ぜひお越しください！

その他、チアからは、子育て、夫婦に関する教育書籍が約 30 冊、発行されており、特にしつけに関しては、「チャイルド・トレーニング」、「聖書が教える親と子のコミュニケーション」、「聖書が教える親の道」がお勧めです。（今回は、「親と子のコミュニケーション」のテッド・トリップ博士のコンベンション 2008 の DVD をご注文くださり、ありがとうございました）

マガジンもご注文いただいた 24 号がお勧めになります。（しつけについてのポール・ブローマン氏、フィリップ・ブローマン氏の記事が掲載されています。）ニュースレターでも、代表の稲葉が書いている記事があります（147 号）ので、そちらは HP で見れますが、スキャンしたものを添付させていただきますね。

⇒ 2008 年コンベンションの DVD には子供へのしつけ・愛のムチについての内容も入っていますか？

はい、主講師のデッド・トリップ氏が「懲らしめとコミュニケーション」、フィリップ・ブローマン氏が「子どもをしつけるための心得」について、それぞれの分科会で語っておられます。更に、ポール・ブローマン氏「子どもをしつけるための心得」（白馬セミナー 2006）、ナタン・ブローマン氏「父母から受けたしつけと教育」（東京コンベンション 2014）もあります。
以上ですが、何か他にご質問等ありましたら、どうぞ遠慮なく、ご連絡ください。」

●いつもニュースレター、マガジンなどで情報をありがとうございます。白馬セミナーでは、娘が初めてLITに参加させていただき、普段は周りに同年代の女子のクリスチャンがいないので、共に仕えること、交わりができることが喜びだったと話しています。感謝です。

早いもので、ホームスクールをはじめて９年目､中３になり､進路も含めて祈っています。コンベンションでの交わりやセミナーを通して神さまの御声を受け取ることができるように親子とも祈っています。学校とも良い関係を持ちつつ、ホーム＆チャーチスクールを継続できること感謝です。久しぶりに皆さんとお会いできることを楽しみしています。主とチアの皆さんの働きに心から感謝します。

（大阪　Ｃさん＆Ｄさん）

●今日は私がお休みを取れたので、家族５人でお台場（未来科学館）に行ってきました。家族で過ごす思い出深い貴重な時間となり、実に感謝でした。未来科学館の近くにある東京税関にも足を運びました。そこで見学者用の展示を見ながら、バイブルミュージアムの貨物の通関での奇蹟について家族で振り返りシェアしました。次回の保管ボランティアついてもお祈りしています。今後のチアの活動に引き続き主の大いなる御手のお働きがありますように！主の奇蹟を目撃し、証できる特権に感謝して。　（東京　Ｅさん＆Ｆさん）

●長男のことですが、今まで、市の教育委員会から登校を促されたり、中学の校長先生から、「訴えるところへ訴える。卒業資格は出せない。ホームスクールなんて私は認められない。」などと言われていました。

別の市への引っ越しが決定し、祈っていました。チアからのマガジン44号で、１２月の国会で法案が認証されたことを知り、希望と期待が沸きましたが、難しく感じていました。

引越し後、主人が住民登録に行った際に、市の教育委員会から、ホームスクールって何ですか？と聞かれたそうです。まさか、そのタイミングで、質問をされると思っていなっかた主人はしどろもどろと答えてしまったと、反省していましたが、どうも、多様な学習の尊重について、国から通達があったようです。それで、教育委員会への挨拶は、すんなり終わりました。

中学には、両親だけでご挨拶に伺いました。教頭先生と学年主任の先生は、ホームスクーリングという言葉をご存知なかったので、「チア・にっぽん」のマガジンを元に、主人が説明をして、何冊か贈呈しました。

「学校としては、『どうぞ、どうぞ。』とは言えず、『登校させてください。』と言うしかないのです。」と、言われましたが、こちらも国からの、通達があったとのことです。

学校側は、籍と出席番号は登録するが、表に出すことは無い、卒業証書は出す、式には出ないという方向で、淡々と話が決まりました。ビックリです。「裁判沙汰も覚悟のうえかなあ。」と、主人と話していたので、ある意味拍子抜けな感じでした。

このような取り決めが得られたのも、チアの皆さんが度々の苦渋の決断を主に従ってされてきたことの結果だと思いました。主が有り余る報酬を贈られますように。

国会議員の方たちに働きかけてくださったお一人ひとり、祈りに覚えていたクリスチャンの方々、賛成してくださった国の働きの方々に、主が、冠を備えてくださいますように。感謝とご報告にて、失礼します。

（大阪　Ｇさん）

☆ 誕 生 ☆ おめでとうございます！

第５子の出産の報告をします。2017 年２月４日に生まれました。3000g で元気な男の子です。名前は **幸人（ゆきと）**と付けました。

５人目ということで、子育ての大変さばかりが気になる自分に気づいた時、主から戴いた賜物であり、本当に幸いな子供なんだと教えられました。幸という字を考え、詩編 1-1 を読んだとき、主イエス様こそ、真に幸いな人だと思いました。主を見上げて幸いな人として歩んでほしいと願い、幸人と名付けました。これからも宜しくお願いします。

（平岡 真実＆恵美香）

東 京 路 傍 伝 道

５年前から、伊勢崎のチャーチ＆ホームスクーラーたちのリーダーシップで進められてきた「東京伝道」チーム。これまで、足立区、葛飾区、江戸川区、荒川区と合計 100 万世帯以上を終え、現在、北区で伝道しています。滅びゆく日本の魂のために、宅配トラクト＆聖句プラカード伝道に参加してみませんか。どなたでも大歓迎です。１時間でも参加できる方は、ぜひ、どうぞ！（事前に必ず、ご連絡ください。）

主のご命令に従うこと、伝道！

クリスチャンとは主に従う者たちです。弟子たちは主と共に伝道しました。あなたも、東京伝道に参加してみませんか。

★東京伝道★

9/18（月） 10/9（月）

（他に毎週日曜日夕方、高崎駅にて賛美と配布をしています。）

★集合場所：赤羽駅
★時間：10:00 ～ 16:00

★連絡先：
0270 – 21 – 6991（福音館）
080 – 5682 – 9726（田村）
090 – 6509 – 2178（風間）
http://www.isesaki-fukuin.com

★草津伝道★ 8/14（月）～ 16（水）
こちら詳しくは、お問合せ下さい。

チア・にっぽん カレンダー

●チア・コンベンション 2017

6 月 2 日（金）・3 日（土）大阪

◇ New! ホテル・ロッジ舞洲

6 月 9 日（金）・10 日（土） 東京

◇オリンピック記念青少年総合センター

●わくわく勉強合宿（定員 120 名予定）

ジョイスイミング 9 月 21 ～ 23 日予定

●チア・オリンピック 9 月中下旬

●チア・白馬セミナー 11 月 23 ～ 25 日

【3 月会計】

収入

献金	2,385,000
書籍・教科書	54,884
会費	23,000
広告	30,000
DVD/CD、ビデオ等	109,619
その他	19,946
	2,622,449

支出

事務局経費	2,713,604
通信運搬費	176,052
交通費	28,262
印刷費	23,760
DVD ＆商品仕入費	37,087
	2,978,765

残高	－356,316
前期繰越	29,168
翌期繰越	-327,148

【4 月会計】

収入

献金	1,372,000
書籍・教科書	119,049
会費	76,000
広告	98,147
DVD/CD、ビデオ等	21,011
その他	3,088
	1,689,295

支出

事務局経費	1,142,063
通信運搬費	38,796
交通費	144,893
印刷費	135,000
DVD ＆商品仕入費	31,998
	1,492,750

残高	196,545
前期繰越	-327,148
翌期繰越	-130,603

☆尊い献金、会費の送金を、
心から感謝いたします。

発達障害の治療の試み

柏崎良子 / 柏崎久雄 著・A5 判・307P
定価：本体 2,000 円＋税

柏崎良子医師のマリヤ・クリニックにおける治療を、
症例、検査の意味と意義、治療法、
発達障害になる原因分析、
治療の手順など詳細に記載しています。

好 評 発 売 中

＜本の内容＞
序文. 発達障害や精神障害の治療を願って
I. 発達障害から良くなった子供たち
II. どのように治療をするのか
A. 治療の枠組みと方法
B. 発達障害についての私たちの立場
C. 発達障害の治療への取り組み
D. 治療方法の説明
III. 治療に必要な知識や理論
A. 身体の形成と栄養の補給
B. 障害への対応の基礎知識
IV. 統計、よくある質問、索引
A. 発達障害検査統計
B. よくある質問

お問合せ：株式会社ヨーゼフ
Tel：043-207-6035 Fax：043-207-6036
メール：info@yozeph.com ホームページ：http://yozeph.com

Chea Japan

チア・にっぽん事務局
〒189－0013 東京都東村山市栄町 1-5-4-103
TEL 042-318-1807 FAX 03-6862-8648
メール office@cheajapan.com